



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
愛知県支部

No. 158

2024. 春

5月は
赤十字運動
月間です
皆さまのご協力を
お願いいたします

赤十字は、
動いてる！

あなたと想いをひとつにして。



TEAM
SAVE365 一緒に、救える。

広報誌

日赤あいち

- ▶ CLOSE UP
被災者に寄り添う活動を
- ▶ TOPICS
- ▶ 日本赤十字社愛知県支部 令和6年度事業計画と予算の概要
- ▶ 赤十字奉仕団 ボランティアリレー 豊明市赤十字奉仕団



日本赤十字社の活動は、皆さまの寄付によって支えられています。

ボランティアとして活躍する奉仕団がリレー方式で登場



赤十字奉仕団

バトンタッチ！

ボランティア
リレー

豊明市赤十字奉仕団

こんな活動をしています

豊明市赤十字奉仕団は地域を4ブロックに分け、1ブロック5名の計20名で活動しています。数年前から75歳定年制度を作り、役員は2年任期として円滑に活動しています。

長く続いている献血普及活動は年3回行っており、私たちは声掛けや案内、記念品セット作り、記念品お渡しなどのお手伝いをしています。昨年度末の臨時献血には、年末にもかかわらず80人の方に献血していただきました。毎回皆さんの善意に感動します。

また、防災教育教材「いえまですごろく」を使って、豊明まつりやJAけやきの会の高齢者ミニデーにて子どもから高齢者まで幅広い年代と楽しく交流しました。これらの行事は好評であり、これからも「地域の方が参加する赤十字奉仕団」をボランティア活動で広めていきたいです。

イチオシポイント

幼児安全法の普及

令和4年度に当団初となる幼児安全法の指導員を養成しました。令和5年度は地域への普及の第一歩として、幼児のいるお母さん10名を対象に幼児安全法講習会を開催し、「子どもの特徴と事故予防」や「AEDの使い方」について講義と実際に人形を使って体験していただきました。他の団員も講習中は子どもたちを預かるなど協力しました。今後も幼児安全法の地域への普及に努めたいと思います。

高校生との連携

市内にある星城高校のJRC部から「能登半島地震の被災地支援として、自分達が出来る第一歩は募金活動ではないか」と市役所を通じて相談があり、当赤十字奉仕団と生徒会、JRC部の合同で街頭募金活動を実施しました。前後駅前の広場にて2日間、夕方の30分間一緒に募金活動を行いましたが、高校生の元気な呼びかけに奉仕団員たちも頑張ることができました。

今回繋がった縁を大切にし、今後も一緒に活動をしていきたいと思います。



活動資金 ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として
多額のご寄付をいただいた法人様

- ▶ アスク環境開発株式会社 様
- ▶ シンコー株式会社 様
- ▶ 一般社団法人日本アルミ鉱滓会 様
- ▶ 株式会社F&Cホールディングス 様
- ▶ 株式会社センテナリー 様
- ▶ 株式会社平岩鉄工所 様
- ▶ 株式会社山忠 様

日本赤十字社 愛知県支部

Japanese Red Cross Society

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 TEL 052-971-1591 (代表)

発行元/日本赤十字社愛知県支部

発行日/令和6年4月1日

P R E S E N T

木製しおり 20
名様

応募先
日本製のヒノキ間伐材を使用した、
環境負荷の少ないおしゃりです。

Mail: aichi-koho@aichi.jrc.or.jp

Fax: 052-971-1590

郵送: 〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50

日本赤十字社愛知県支部「日赤あいちプレゼント」係

明記事項
①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号
④年齢 ⑤「日赤あいち」の入手先 ⑥ご意見・ご感想など

締切/令和6年6月30日必着

活動の詳細や
最新情報は
ウェブサイトか
SNSへ

日赤あいち

https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/

検索



令和6年度事業計画と予算の概要

令和6年度における日本赤十字社愛知県支部の事業計画および一般会計歳入歳出予算についてご報告します。

事業計画の概要（主な事業の抜粋）

◆災害救護活動と救護看護師の養成

大規模災害や豪雨災害などの災害に対して迅速かつ適切に医療救護活動を行うため、救護員等の養成に努めるとともに、災害救援物資の整備充実に取り組んでまいります。また、近隣の支部と広域支援体制を確立し、行政をはじめ関係機関との連携強化に努めています。さらに、日本赤十字豊田看護大学において、災害救護活動に対応できる幅広い知識と技術を備えた優秀な看護師の養成を行ってまいります。

◆医療事業

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院及び日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の両病院が災害時には医療救護活動を、平時は地域の中核病院として、救急医療、高度医療及び災害医療などの分野における機能強化を図り、地域のニーズに応じた医療の提供に努めています。

◆血液事業

県内の医療機関からの要請に応え、より安全で良質な血液製剤を安定的に供給するため、400mL献血及び成分献血の一層の推進や、将来の献血を支える若年層への理解促進を図るための献血推進広報を積極的に実施してまいります。

◆救急法や健康生活支援講習等の普及

昨年度に継続して、子ども・子育て世代を支える活動を強化するため、幼児安全法を中心とした講習を積極的に実施するなど、より一層の講習普及に努めています。さらに、普及の担い手となる指導員の増強を図るため、令和6年度については幼児安全法及び健康生活支援講習の講習指導員養成を実施してまいります。

◆赤十字ボランティアの活動と育成

講習指導員資格を取得した指導員による講習普及や、赤十字防災ボランティア・地区リーダー、赤十字防災セミナー指導者を中心とした防災・減災の知識・技術を普及する活動、子ども食堂をはじめとした子ども・子育て世代を支援するための取り組みを推進してまいります。

◆青少年赤十字の育成と普及

学校教職員及び教育行政機関の理解と協力を得ながら、メンバーの増強、指導者の養成、リーダーシップ・トレーニング・センターの開催、海外青少年赤十字メンバーとの交流、防災教育等各種事業を推進してまいります。

◆社会福祉事業

各地域における社会課題を把握し、行政、企業、他団体と連携し課題解決に向けて取り組んでまいります。また、外国人学校における医師の派遣等を通じた健康診断実施の支援等、市町村や関係団体と連携し、地域における多文化共生の取り組みを推進してまいります。

◆国際活動

世界各国・地域の赤十字・赤新月社が実施する災害対策事業や保健医療支援事業等への協力を実施してまいります。また、日本赤十字社の国際医療救援拠点病院に指定されている日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院にて緊急の救援要請に応えられる体制整備に努め、発災直後の緊急支援から中長期にわたる復興支援や開発途上国における保健医療支援に取り組みます。

一般会計歳入歳出予算の概要

歳入

内訳	予算額	割合
社資収入	1,092,000,000 円	86.9%
委託金・補助金及び交付金収入	6,823,000 円	0.5%
資産収入・雑収入	26,193,000 円	2.1%
前年度繰越金	132,343,000 円	10.5%
合計	1,257,359,000 円	100.0%

歳出

内訳	予算額	割合
①災害救護事業と救護看護師の養成に	395,321,000 円	31.4%
②急救法や健康生活支援講習などの普及に	49,935,000 円	4.0%
③赤十字ボランティアの活動と育成に	52,550,000 円	4.2%
④青少年赤十字の育成と普及に	53,435,000 円	4.3%
⑤社会福祉事業などに	21,545,000 円	1.7%
⑥血液事業の普及啓発に	5,389,000 円	0.4%
⑦国際的な活動に	10,684,000 円	0.8%
⑧活動資金募集のために	82,441,000 円	6.6%
⑨赤十字の普及・広報活動のために	41,856,000 円	3.3%
⑩赤十字病院救急医療体制の整備に*	143,413,000 円	11.4%
⑪市町村における赤十字活動に	121,400,000 円	9.7%
⑫全国的な赤十字活動に	121,050,000 円	9.6%
⑬支部の運営に	158,340,000 円	12.6%
合計	1,257,359,000 円	100.0%

*使途が指定された活動資金による事業を含みます。



※事業計画の詳細については、日本赤十字社愛知県支部ウェブサイトでご覧いただけます。

